

3年間続いてきた新型コロナ騒動も、第8波の終息を目の前にし、マスク着用の緩和、2類から5類への移行が議論されるようになって、大きな節目を迎えようとしています。学会活動も、昨年の秋頃から会によっては現地開催がメインとなり、face to faceで議論する本来の学会のあり方のよさを、あらためて認識することが多くなりました。今後どうなるかはまだわかりませんが、皆様も長く寒い夜が終わり、地平線の向こうが白んできたときのような、少しほっとした明るい気持ちになっておられるのではないのでしょうか。新型コロナが消滅することはないでしょうが、皆様がある程度コロナ禍から解放され、脊椎脊髄病の治療という本来の仕事に戻ることができるよう祈っております。また、それに伴って、滞りがちだったこの「脊椎脊髄ジャーナル」の発行も遅れを取り戻すことができるよう、編集委員、出版社ともども急ピッチで作業を進めております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

今回の特集は、「脊椎脊髄の先進的なMRI検査と解析」です。MRIの出現によって、脊椎脊髄病における診断は飛躍的な進歩を遂げてきました。しかし、それはX線やCTなどの伝統的な画像検査と同様、形態と質を見ることが主だったといえます。しかし、実臨床では、画像の程度と神経学的臨床症状が必ずしも一致しないことはまれではなく、最終診断や責任病巣の決定は主治医の経験に頼ることも多かったように思います。脊椎脊髄疾患の治療においては、診断の比重はきわめて大きく、手術の成否も手術そのものよりも診断（手術適応や手術計画も含めて）にかかっているといっても過言ではありません。本特集に紹介されたように、最近のMRI技術では、形態、質をさらに詳細に見ることが可能になったとともに、画像に機能を反映することもできるようになってきました。これは画像検査全体としてみても画期的なことだと思います。また、脊髄単独ではなく、その大元である脳も考慮に入れて診断するという視点も、私のような古い整形外科医には目からうろこの発想です。日進月歩で進むMRIの最先端に触れ、今後の診断・治療に役立てるとともに、臨床医の視点から新たなMRIの応用に思いを馳せていただければ幸いです。

(根尾昌志)

# 脊椎脊髄ジャーナル

## 編集顧問

萬年 徹 金田清志 小山素磨  
小柳知彦 田代邦雄 国分正一  
服部孝道

## 編集委員

山崎正志（編集委員長）  
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行  
高見俊宏 筑田博隆 永島英樹  
中村雅也 根尾昌志 原 政人  
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘  
安原隆雄

Vol. 35 No. 10  
(2023年3月10日発行)

毎月1回25日発行

1部定価（本体2,500円＋税）

（配送料別）

年ぎめ予約購読料 33,300円＋税

送料弊社負担

発行／株式会社 三輪書店  
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷綱ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

（担当：山岸）

印刷所／三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所／

（株）文栄社

TEL 03-3814-8541

（株）ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.  
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2022,  
Printed in Japan

【COPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。